

今年 8 度 府中市立小柳小学校経営計画（概要）

1 目指す学校

Well-Being 溢れる学校 ～みんなの「たい」を大切に～

- 子供の Well-Being やりたいことを見付け、行動できる子供
- 教師の Well-Being 子供の「たい」を引き出し、全力で応援できる教師
- 保護者・地域の Well-Being 保護者や地域の「たい」に応える学校

《学校の教育目標》 **かしこく やさしい 元気な子**

小柳小学校は、人権尊重の理念に基づき学校・家庭・地域社会の連携の中で、課題に主体的に向き合い自らの考えを形成し、友達と協働して課題を解決する力を育み、Well-Being 溢れる学校を目指し、次の教育目標と育成を目指す資質・能力を掲げ、学校教育を推進します。

かしこく…自律的に学習する子

やさしい…自分も相手も大切にし、共につながることができる子

元気な子…心身の変化に気付き、粘り強く頑張り、自分を高める子

2 中期的目標

- (1) かしこい子の育成
- (2) やさしい子供の育成
- (3) 元気な子供の育成
- (4) 地域・保護者との連携の推進

3 今年度の取組目標と方策

主体性を重視した教育活動を展開します。学習場面でも生活場面でも、子供の発達段階に応じて主体性を発揮できることを中心に指導します。子供から出された「～たい」を実現するために、教師はファシリテーターとしてかかわれるようにします。

(1) かしこい子の育成のために

- 府中市教育委員会研究奨励校 2 年目として、校内研究予算を有効に活用し、主体的に発見、対話、決定、表現する子供を育成するための研究を進めます。
- デジタル教科書を含めた学習方法や順序等、子供が学びを選択できるようにします。
- 小グループや全体での学び合いを通して、考えを広げたり深めたりできるようにします。

(2) やさしい子の育成

- 子供の話を傾聴し、行動や気持ちを認め、子供に寄り添った指導をします。
- 子供の好きなことや得意なことを尊重し、自己肯定感、自己有用感を高めます。
- 「あいさつ」「あつまり」「あんぜん」等、当たり前のことを当たり前にできるようにします。

(3) 元気な子の育成

- 多様な動きや運動を経験させ、体を動かすことに幸せを感じられるようにします。
- レガシー教育の予算を有効に活用し、運動に対する関心を高めます。
- 体だけでなく心の変化を意識させ、自己調整しようとする子供を育てます。

(4) 地域・保護者との信頼関係の構築

- 保護者・地域のニーズを理解し、協働して子供を育てます。
- 熱中症、交通事故、不審者から子供を守り、安心・安全な生活環境を整えます。